

毎週日曜発行
2023 3/19

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



理想の学校をつくるには？

ニュース



こども記者が取材



体育着の統一と同時に導入(どうにゅう)されたスラックス姿(すがた)の半沢さん(右)と高野さん(中央)に質問する鷹松さん

みんなは、今通っている学校は好き？ 白石市白石中は、生徒が自分たちで考えながら、男女別色だった体育着の統一や校則の見直しに取り組ん

◇ 白石中は、全校生徒約360人の学校です。生徒会長の2年半沢朱子さん(14)と副会長の2年高野惺琉さん(14)が、取材に応じてくれました。本年度生徒たちが検討

でいるよ。こども記者の聖ウルスラ学院英智小5年鷹松ななみさん(11)が取材し、理想の学校について考えました。

議論重ねルール見直す

したのは①髪形(お団子・ツープロック)一部解禁②部活のある日の体育着下校③防寒具の色の自由化④靴下の色の追加です。



半沢さんは「これまで夏以外は体育着で部活をしても、下校時に制服に着替えていました。靴下も白のみで、黒と紺を追加したいと声が上がりました」と説明します。それぞれ8人構成の検

討会をつくり、「気品のある学校生活」を念頭に話し合いを重ねました。議論の過程は全員がオンラインで見られるようにしました。

髪形については、お団子の位置やツープロックの基準などを、画像などを参考にしながら丁寧に議論し、認められる範囲の共通認識を作っていました。

鷹松さんが「意識の変化はありましたか」と質問すると、高野さんは「最初は何をしたらいいのか分からず戸惑ったけれど、自分に関係することなので、みんな前向きに取り組みました。意見を言える雰囲気になりました」と話しました。

白石中は2021年度、男子水色、女子ピンクと色が分かれていた体育着を濃紺に統一することを決め、今年の1年生から変更されました。当時の生徒会長がジェンダーフリーの観点から「色で分けるのは時代にそぐわない」と、校長先生に訴えたことが始まりでした。



「苦労したことは何ですか」という質問に、半沢さんは「先生、保護者と検討委員会を作り、変更するかどうかが議論されました。お下がりがないという反対意見もありましたが、どうしたらみんなが納得できるかを考えながら進めたと聞いています」と答えました。校則改正案は取材後に行われた臨時生徒総会で、全て可決されました。(8面に続く)

今週の注目ニュース

◇22日(水) 放送記念日

1925年のこの日、NHKが日本初のラジオの仮放送を始めたことを記念して制定されたよ。第一声は「アー、アー、アー聞こえますか」だったんだって。ちなみに、本放送は同年7月に始まりました。

今日の紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ